

起業支援 5期目開講

前橋で
GIS

起業家の輩出や県内企業の事業革新を後押しする「群馬イノベーションスクール（GIS）」

（田中仁財団主宰）の2018年度講座が16日、前橋市の前橋まちなか研究室で開講した。高校生から40代までの受講生23人が講義を通じて自らのビ

ジネスプランを練り上げる。財団代表理事で、眼鏡チェーンを展開するジンズ（同市川原町）の田中仁社長は「本気になって自分の頭で深く考え、受講生同士で刺激を受けてイノベーションを生み出してほしい」と激励した。

講師を務める早稲田大ビジネススクールの長谷川博和教授は「夢のある未来と、現在とのギャップにこそビジネスチャンスがある。常識に縛られず、自らは自らの事業プランを

の仮説を検証してほしい」と述べた。GISは本年度で5期目。来年1月まで毎月講座を開く。受講生（GIA）」（上毛新聞社主催、田中仁財団共催）にエントリーする。



長谷川教授(中央)の助言を受けながら議論する受講生